



マイエツト
建言書

32
11
大藏省火
災保險取
調査之印



114
A 3617
4



謹言

大藏卿閣下ニ白ス曩ニ閣下ヨリ設置セラレタル火災保險

承調書ニ於テ委員議中時ニ火災消防法ヲ設ケ成ル可ク速ヤカ

ニ旧来ノ規程ヲ改良メンテ決マリ其餘件左ノ如シ

曰ク火災消防法ヲ改良スルトキハ實ニ巨額ノ火害補償金ヲ節

省スヘキヲ以テ家屋保險収入金ノ内一部ハ之ヲ消防法改良費

ニ供充スルヲ得ヘシ然レトモ後々家屋保險局ヨリ之ヲ寄附シ

得ル場合ニ至ル迄ハ先ツ政府ヨリ年々此金額ヲ給與セラレン

テ欲ス但シ委員ハ現今ニ在テハ政府又後来ニ在テハ家屋保

意ニ非ス唯在来ノ消防法改良ニ付其費

用ノ一部ヲ寄附マシト欲スルノミ

曰ク故ニ政府ハ年々五万圓ヲ警視廳ニ給與セラレ熟練ノ消防

官ヲ顧問ニ備ベ之ト悞議ノ工其見込ヲ斟酌シ左ノ目的ヲ達セ

ニテテ欲ス

(甲) 東京消防法器械是ニ演習ヲ改良メンテテ欲ス

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

(乙) 東京一ノ消防傳習所ヲ設立マシテ欲ス

(丙) 此學校及ニ消防法ヲ以テ之ヲ後來全國消防法改良ノ基礎タラシメンコトヲ欲ス

右諸件ノ顧問及ニ教師トシテ火災消防法ニ高名ナル伯林府消防官五名ノ中一名ヲ招聘シ而シテ之レト商議マシコトヲ欲スト尤モ委員諸君ハ此年金五万圓ヲ以テ東京全府ニ壯大ノ諸器械例ヘハ馬力又ハ蒸氣ヲ以テ使用スル唧筒或ハ蒸氣小舟ニ設置セラル唧筒ヲ設備シ是ニ壯大ノ家屋例ヘハ既附ノ立場是ニ消防夫ノ屯所ヲ新築スルニハ或ハ不充分トセラレラルニ非スト雖モ僕ノ意見ニ從ヘハ該金額ハ警視廳中央局(消防法事務局)ノ諸入費ヲ支辨シ消防學校(教員數名ヲ置ク)ヲ設立且ツ維持シ其他教員ノ居館是ニ消防學校附属ノ支場ヲ少ナクモ一箇或ハ數箇ヲ建築シ且ツ之ニ備具スベキ器械ヲ備フルニ充分ナルベシ但

此官舎ハ勿論塗屋石造等ニ非ス僕ハ行政及理財上ノ点ヨリ水造ノ建築ヲ欲ス又石造等ノ費用ニ就テハ不日尙取調概ニ建言スベシト雖氏然テ官舎ノ建築ヲ石造ト定ムルモ先ツ現今普通ノ官舎建築方ニ於ルニモ七モ消防隊ノ家屋ハ假令々木造ナ

ルモ失火ノ際迅速ノ消防ヲ爲スベキガ故ニ他ノ官舎ノ如クニハ巨害ヲ蒙ルニ至ラザルベシト思ハル
故ニ此金額ハ愚見ニ從ヘハ東京及ニ其他ノ火災消防法ヲ漸次改良スルニ充分ナルベキモ一般ニ其改良ヲ決行スルニハ固ヨリ不充分ナラサル能ハス然レモ之ヲ改良スルハ政府中央局ノ事務ニシテ之ヲ決行スルハ地方廳及ニ人民ノ職務ナリ然リ而シテ全國ノ消防法改良ニ費ヤスベキ金額ヲ支辨スル方法ノ如キハ今豫メ其金高ヲ美定シ得ザルヲ以テ須ラリ之ヲ後來ノ狀況ニ譲ラザルヲ得スト雖氏夫ノ改良方法ノ如キハ宜ク政府ノ所然之ヲ行フヘキ機ニ會スルナラン乎
希クハ閣下以上ノ委員決議ヲ贊成シ内務卿閣下ト之ヲ協議シ賜ハラシテ

但し伯林府消防官五名ノ中一名ヲ傭入レラル、ニ付僕尚ホ一
言ヲ呈セント欲ス尤モ此意見タル未タ委員ハハ候議マスト虫
氏僕委員ノ之ヲ賞讃スルヲ信スルナリ請フ之ヲ左ニ陳セン
火災消防法顧問ノ事タル既ニ記載セシ如ク其掌務頗ル繁多ナ
リト虫氏家屋保険局ノ爲メ此他尚ホ二三ノ事務ヲ預ハシムル
ノ勢欠ク可カララルヲ覺ユルナリ即チ家屋保険局ハ爐竈、煙筒、
防火壁等ニ火災堅固ノ屋根ヲ造営スル事ニ涉リ數多ノ建築條
例ヲ要スベク又之ニ因テ種々ノ材料例ハハ屋根紙、屋根板、アス
ハルトセルツ、布又ハ紙ニ瀝青及ビ石灰ヲセメント板屋根、或ハ
火災ヲ防クヘキ塗抹藥品等之カ物質ノ試験或ハ材料用方ノ教
授ヲ要スベク而メ如斯キ事件ニ付テハ火災消防法顧問ヨリ実
際適切ノ報告ヲ呈セシメント欲ス
憶フニ該顧問ハ特リ火災ニ付テ其能アルノミナラス且ツ魚テ

建築ノ術ニ達スル者ハ家屋建築ノ費用ヲ査定スル事ニ付ラモ
亦其意見ヲ以テ大ニ之ヲ進捗セシムルニ足ルハキナリ
故ニ僕伏テ准フニ閣下若シ消防法顧問ヲ傭入レラル、ニ際シ
條約中左ノ件ヲ記入セラル、ハ、又別ニ保險局ノ爲メ技術學
士ヲ傭使セラレラルモ充分ナルヘキナリ
消防法顧問ハ家屋保險委員即チ家屋保險局ノ需メニ依リテ其
意見ヲ申述シ且ツ防火方法、失火及其損害或ハ家屋建築費用釐
定ニ付テノ候議是ニ材料検査ノ事ニ與ルベキ義務ヲ負フベシ
ト
此他愚見ニ從ハハ消防法顧問ハ消防学校及ヒ消防兵ヲ鍛練ス
ルカ爲メ少ナクモ上等消防兵三名ヲ要スベシ尤モ右三名ハ伯
林府ニ於テ現今自ラ指揮スル所ノ消防隊ヨリ最モ技能アル人
物ヲ顧問ニ撰相セシメ而シテ之ヲ在伯林府日本公使館ニ吹捧

セシムベシ且ツ此輩ハ本邦任官中恰モ伯林府ニ於ケルが如ク
之ヲシテ顧問ノ命令ヲ遵奉セシムルヲヨシトス
條約中茲ニ一難事アリ即チ消防隊ノ指令ヲ委任スルノ件ナリ
若シ政府ニ於テ未タ消防法ヲ編成セズ器械ヲ設備セズ且ツ未
タ消防隊ヲ練習セシメザル以前ニ之ヲ顧問ニ委子而シ其責任
ヲ之ニ負ハシムルハ責任甚ク早ニ過キ之レガ爲メ或ハ不当
ノ誹評ヲ招キ遂ニ消防法改良ノ信任ヲ失フコトナシトス可ラス
故ニ是レ時リ事務ニ不利ナルノミナラス消防法顧問ニ對シテ
モ亦不正ナルが如シ因テ僕ハ左ノ如ク結約セラレンコトヲ希望
ス
其條ニ掲ケテ曰レ内務省ハ火災消防法顧問ヲシテ授任ニケ年
ノ後テ(或ハ尚ホ違フモ可ナリ)消防隊ノ指令ヲ司ラシムルコトヲ
得ヘシト但シ右ニ付僕又一言ヲ呈セザルヲ得ス即チ火災消防

法ノ改良ニ付テハ嚴密ノ懲戒法ヲ制定シ假令ヒ一分ノ時間タ
リ氏無益ニ消費スルコト勿ラシメンコトヲ要スベク而シテ此目的ヲ
達スルニハ政府ニ於テ顧問ニ兩三ケ年間特ニ失火ノ場合ニ於
テノミナラス成ルベキタケ管理上ニ於テモ東京消防隊ノ指令
ヲ委任スルニアルノミ
此他顧問ノ給料ハ一月五百圓其約定期限ハ五年若クハ六年
トシ又上等消防夫ノ給料ハ一月百圓其期限ハ当分三年ト定
メラルベシ
僕ハ伯林府消防官五名ノ中未タ直接ニハ一名モ其人ヲ知ラス
ト雖モ其公評及ヒ職掌ヲ以テ之ヲ觀レハ皆技能才幹アルハ疑
ヲ容レズ殊ニ消防兼建築長ナルグラーメル氏ノ如キハ僕最モ
消防法顧問トシテ吹捧セント欲スルモノナリ何トナレハ同氏
ハ熟練且ツ氣堅アル人物ニシテ且消防ト建築トヲ兼ルヲ以テ

具便益甚々大ナレバナリ

大藏書

